

会員数(55・12現在)

逗子地区 156名

葉山地区 235名

大船地区 64名

合計 455名

# 吟道月報

日本詩吟学院岳風会 認可  
神奈川 碩心会 発行

55・12月

第101号

発行者

根岸 岳萃  
編 村山 愛岳  
中杉 山雪 風

## 吟じる楽しさ

下山口支部 新 倉 久 風

下山口教場は四十五年九月、新倉きよ様(清山)方より発足致しました。私の詩吟との出会いは旧友との会合の時、石木先生の吟に魅せられ、入会出来たらと思っていましたところ、幸いにも新倉きよ様から家で始めますからとのお誘いをいただき同志六、七人からスタートして現在に至っております。以来、故根岸清岳先生、加藤秀岳先生、沼田光岳先生方の御熱心な御指導を仰ぎ、早々十年余りたちまれました。教場も神社々務所、農協三階等々と変り、大変御熱心な沼田支部長さんの御世話のもとで心暖かな教場の皆様方に囲まれて和気あいな雰囲気の中で毎

週一回のお稽古を楽しみにして、ますますよき師、よき友に恵まれた幸せと生きがいを感じております。お誘い下さいます新倉きよ様の御厚意に感謝しております。

詩吟の奥深い難しさをつくづく感じる昨今ですが、ひとつの作品を楽しく味わって吟じられるように心がけています。いつになっても上達しないのが残念ですが、健康と精神修養のため、老骨に鞭打って先生や先輩の御指導のもとに自分なりに頭の体操をしてくつかりです。



## 理事会の報告

とき・55.11.15(日)7時より  
ところ・桜山会館

(開会のことば) 加藤圭岳

55名中過半数出席につき議事成立をつげる

(会長あいさつ) 根岸岳萃

皆さんの協力により今年度の行事は逗子地区  
温習会のみを残し無事終った事に対し感謝す

(議長選出) 根岸会長当る

(主なる議事)

初吟会について(決定)

とき・56年1月11日(日)

ところ・京急ビーチセンター

会費・二千七百円

担当支部・堀内・木の下・風早・元町

観梅吟行会について(決定)

とき・56年3月14(金)15(日)

行先・会費等概略は10月号月報に記載済み

詳細きまり次第発表

個人別会員名簿について

12月25日までに支部毎にとりまとめる

必ず鉛筆で記入のこと

指導者への謝礼奥態について

支部長の報告にもとうき、会費、謝礼額等

別刷プリントにて発表。(参照までに)

各部長報告

葉山地区長、沼田洗岳

吟道手帳は奥伝以上必携につき、未購入の

方は急ぎ地区長を通じ申込みよう

逗子地区長、千葉劔岳

地区温習会の件につき、主催を頑心会、主

管を逗子地区とした

プロ中式典の中に許証授与を入れる

逗子詩吟詩舞連盟より30回記念に際し感謝

状が当会に贈られた

大船地区長、下條亮岳

吟道手帳を奥伝許証授与と同時に渡し購入

するようにならどうか

放務部長、小峯校岳

雑誌「吟道」の個人申込みは毎月十日迄に

小峯迄(TEL 751-2714)

総務部長 加藤圭岳

入退会届の様式一部変り・提出経路支部長

↓担当指導者を通す

記入はきちんと全部してほし

企画部長 千葉香岳

初吟会 観梅旅行前記の通り

許証部長 中村幸岳

56年度審査課題決定(11月号月報に発表)

審査日3月22日(日)図書館ホールに決定

逗子地区温習会に許証授与

受審の際の受付票の記入を正確に

許証料はきめられた納入日迄に必ず納入

広報部長 中村愛岳

指導者の月報は担当支部を含む

配布もれのないよう早く配布してほし

十二月号は年内に配布できるようにしたい

会計部長 秋元梁風

弔慰、見舞の必要あるときはなるべく早く

会計まで報告してほし

各支部毎の納入日の報告がありました

◎逗子地区温習会を終る

碩心会今年度最後の行事である逗子地区温習会は11月30日、図書館ホールに於て行われ盛会のうちに終りました。当日はおだやかな温かい天気に恵まれ俸とでれた。

一つの目標に向って皆さんが一生懸命努力をされ発表されましたが、今日よりは明日へと更に又一つの目標めざして進むとこのことは素晴らしい事だと思ひます。

逗子地区の皆さん方の総意結集により、盛会に力を入れて手際よく、特にプロ進行は皆さんの応援参加がより盛会に花を添えました。尚、次の方々が奥伝許証を受けられました。

- 迫尻端風 舟渡舟風 沼田静風 安達朋風
- 石津祥風 野田公風 依田秋風 矢島尚風
- 加藤朋風 伊藤聖風 猪又房風 臼井照風
- 一柳道風 大久保元風 清田媚風 石渡啓風
- 佐久間爽風 木村松風 伊藤湧風 熊田春風
- 関水滄風 大崎香風 浅沼翠風 (5710-1付)

ひとときを過しました。

みかん園をあとにして道了様へ。深いく  
杉木立の中を通り抜け、境内におりたてばま  
ず紅葉の見事さに一同感歎、思わず来た甲斐  
あったと喜びの声ひとしきり、素晴らしい紅  
葉の色をそのまま訪問着にでも染め出せたら  
どんなに素晴らしき事かなんて思いました。  
荘厳な建物に見とれつつ全員無事に奥の院の  
三百有段の石段を登りつめお詣りできました。  
道了様にお詣りできて皆何となく嬉しい気  
持ちで帰路につき、途中思いがけなく曾我兄  
弟のお墓にもお詣りできました。

短い秋の一日を楽しく有意義に過せて一同  
大満足、ちなみに今日の費用、お一人様千円  
也、勿論車代など皆さんの好意によるところ  
大でした。手弁当などで口組のモットー、  
細く長く楽しくで和気あいあいのうちに、口  
々に又ネといいなながら親睦みかん狩りの一日  
が終りました。

夕にあう秋友がもてなす ぶかれ小も 山

(訂正) 一色B支部 寺島厚夫の市外局番 〇四六八を〇四四に

(亦又 更人)

322 松井正泉・諏訪支部より 逗子A支部へ

飛田與子・逗子A支部より 長柄支部へ

(一人 〇〇)

(一色B支部) 青山直道 横須賀市森崎三丁目三三

(電) 〇四六八一 361 二九八〇

(堀内支部B組) 大坪克子 葉山町堀内一、一八

(電) 〇四六八一 751 三五六六

(堀内支部B組) 伊藤光子 一色 一七六〇

(電) 〇四六八一 751 〇七四五

(風早支部) 行谷マツ ヶ ヶ 一、二四二

(電) 〇四六八一 751 五八〇七

(一色B支部) 高橋清治 横須賀市芦名二四五〇

(電) 〇四六八一 561 五五〇八

(松和支部) 上野正幸 東京都小平市喜平町九室一九

(電) 〇四二三一 241 七三八四

(退) 〇〇

99 横沢章風 224 森 貞山 大船江向笠真琴

一色B天都和夫 一色B小菅敏郎